

第 31 回福島県中山間地域等直接支払制度評価検討会議事録（概要版）

- 1 日 時 平成 29 年 5 月 15 日（月）10：00～11：30
- 2 場 所 福島市 杉妻会館 3 階鈴蘭
- 3 出席委員 唐橋委員、佐藤委員、千葉委員、星委員、松本委員（五十音順）
- 4 議 事
 - (1) 平成 28 年度実施状況について
昨年度の協定締結数、協定への参加人数、交付対象面積、交付総額及び活動内容等をまとめ、報告した。
[質問] 中山間地の農業について、先を見据えた展望、今後の対策を伺う。
[回答] 認定農業者、新規就農者、女性農業者の育成及び農業への企業参入、法人化を長期的に考えていく必要がある。その下支えとして、魅力ある農山村を守るために日本型直接支払制度を推進していく。
 - (2) 平成 29 年度実施計画について
今年度の協定締結数、協定への参加人数、交付対象面積、交付総額の見込み及び今年度の制度推進に向けての取り組みについて説明した。
[質問] 避難区域市町村の取組状況について伺う。
[回答] 相双地区で取組可能な市町村では交付を受けている市町村があり、今年度 1 町増える予定。さらなる本制度の活用に向けて推進を図っていく。
 - (3) 中間年評価の概要について
平成 29 年度に協定活動の取組状況を点検し、本制度の効果を確認するとともに課題を明確化し、制度のさらなる推進と次期対策に向けた検討に資することを目的とする中間年評価について、実施方法やスケジュールを説明し、中間年評価案を次々回の評価検討会において諮り、了承を得た上で国へ提出することとなった。
 - (4) 中山間地農業ルネッサンス事業について
平成 29 年度から中山間地農業の振興を図るために創設された本事業の目的、事業内容、及び事業の推進体制について説明した。
また、各方部別に中山間地農業振興の方向性を定めた地域別農業振興計画の平成 29 年度版について報告するとともに、平成 30 年度版の計画作成や推進体制の中で整理した事項に対して本検討会で報告、助言を受けることで了解された。
 - (5) その他
本検討会の今後の開催について、平成 29 年 8～9 月頃に第 32 回（現地調査）、平成 30 年 2 月頃に第 33 回を開催することで、了解された。